

## 先生も人間です……ということ、仕事の基礎基本

okazaki 2020/10/24 Stu 19:00~20:30

学校マガジン『お・は』の編集人。子育て雑誌『ち・お』編集協力人。愛知教育大保健体育科卒、名古屋市内で教員を45年。定年後も小学校で非常勤講師（8年目）。フリースクール『アーレの樹』理事、乳幼児からの子育てや「男性の悩み」につきあう。現在YouTube「おかざき学級」で授業放映。67歳11ヶ月。書籍は「岡崎勝」でAmazon検索を

0) はじめに どうして教師になったのか……という自問自答

### 1) 「子どもを受け止める」ということ=迷惑な「あなたのため」

- ① 子どもを「愛し過ぎない」こと
- ② 「子どもの事情」子どもだって大変なんだから
- ③ 親と子どもは分けて考えたり、一緒に考えたり
- ④ 「相性が合わない」という「ホンネ理由」は仕事にはいらない
- ⑤ 子どもは天使の悪魔、かつ悪魔の天使

### 2) 職場での立ち位置=精緻な論理は孤独なもの

- ① 同僚とうまくやる方法はコレだ！ は、「失敗」する
- ② 20歳には20歳の、30歳には30歳のやれることがある
- ③ 少数職種の人と仲良くなる

### 3) 批判や揶揄に向き合う=喜怒哀楽

- ① 意見が対立しなかったら良質な仕事はできない
- ② 激高してけんかするのは30歳代まで(笑)、あとは、冷静な「論議」を！
- ③ 褒められたら困る人には、けなされるように動く
- ④ 社交辞令は誠実さと嫌みの両方で使う

### 4) 教師で一番 重要なこと=向上心、探究心、好奇心、芸人になれ

- ① 管理職とはまず法律で向き合うこと。情の論理は墓穴を掘る
- ② 教師の質は非教師の時間の質に比例する
- ③ 究極の選択:「子どもに好かれるドンクサイ教師」か「子どもに嫌われる、有能で手際の良い教師か」か？

付録) ボクが教師になるときに「一番恐かったこと」

以上